

四国教職大学院の交流(集中講義)を実施しました！

< 教員研修プログラム開発演習 >

9月17日、10月1日、10月29日の3日間の日程で、四国教職大学院交流の集中講義が開講されました。オンライン・対面の併用開催で、鳴門教育大学、愛媛大学の現職教員派遣院生名が参加しました。スクールリーダーとして、「教員の新たな学び」をテーマとした研修開発のための知識を習得し、実際に開発したプログラムを模擬体験するという、対話的・協働的な学びの演習中心の講義です。

理論編講義の後、約1か月間で研修プログラムを開発し、模擬体験演習に向けて各自が準備し、対面授業で発表しました。

最終日の**研修プログラムの提案**では、**個と集団による対話**により、テーマについての議論が深まり、様々なデータや学校現場の実態を踏まえた、実践的な視点を重視した演習となりました。



この四国教職大学院の交流は、愛媛大学教職大学院の創設以来継続しており、互いの実践課題研究の交流を始め、**各大学教員の専門分野の指導**を受けることができ、**学びの拡大と質の保障が特徴的**です。最終回の授業では、研究者教員の専門的視点から、組織マネジメント、教育相談・教育心理等について、また実務家教員による学校組織改革の実践的視点から等、多様な指導助言を受けました。さらに、互いに、他県の現職教員と学校現場の課題や改善策について語り合う機会など 派遣研修ならではのメリットがあり、ネットワーク構築の場となりました。